

項目		散策路		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	1/29	散策路まわりの刈り取り範囲の最小限化の要請	草の刈り込みの際に、なるべく範囲を必要最低限に狭めていただくことをご検討いただけたらうれしいです。 いつも散策路のまわりの植物から季節を感じたり自然の豊かさを観察して楽しんでいます。 昨春に散策路（山崎小学校裏から池までの「都市計画公園」に当たる道。今回の計画地区ではありませんが）の脇に咲いていたスマレの花や、野イチゴのような花（実がなる過程を見られたらと思っていました）などが花期に刈られてしまい、残念に思いました。かなり広い幅で刈られている部分もあります。可能であれば、刈る幅を縮めていただくなど、なるべく自然を感じられるように残していただけたらと思いました。 刈り取り作業は安全のためと理解していますので大変ありがたく思うのですが、せっかく自然のなかを歩いているのに、季節がすぎたら消えてしまう小さな草花まで広く刈られてしまって見られないのは一利用者としては残念でもあります。 今回該当の地区でも一見目立たない、しかし面白い多様な植物が生えていますので、同じように必要以上に刈り取られ過ぎてしまわないことを願います。	【回答】 当該箇所は山崎・台峯緑地（風致公園）の園路沿いの草刈りに関するご要望だと思われるので、現在管理作業を行っている指定管理者に対していただいたご意見を共有させていただきます。 また、山崎・台峯緑地（都市緑地）においてもご意見を参考に維持管理を行います。
2	2/12(09)	階段不要	◆『3.3 散策路の検討』について 副動線のうちツノ坂のみ整備するということですが、フェンス撤去と排水整備をしっかりと実施すれば後述の階段設置をせずとも通行しやすさは格段に向上すると思われるので、階段設置はやめていただきたいです。	【回答】 現地の状況や勾配を考慮し、当該箇所は階段を設置する必要があると考えています。
3	2/12(09)	自転車等通行条件について	◆『3.9 維持管理の検討』について 自転車や自動二輪車の通行条件については、前回の素案についての意見募集でも書きましたが、いろいろと協力できることがあるかと思うしますのでご連絡ください。また、現在の「正直者（マナーが良いもの）ほど損をする」状況をできるだけ改善するためにも、前述の入口案内サインの設置場所や向きを改善するなどできる範囲での早急な対応をお願いします。また私事ながら、2024年度より神奈川県地球温暖化防止活動推進員というボランティア活動もしており、その一環で自転車利用促進の運動をするための自主的な学習もおこなっているため、自転車（や自動二輪車）に関するさまざまな事情や事例も調べています。役立てることがありましたら気軽にご連絡ください。	【回答】 自転車や二輪車の通行条件については、供用開始までに道路管理者やボランティア団体等と協議を行い、対応を検討します。 検討する際は、必要に応じて相談させていただきます。

項目		階段・柵		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	2/1	メンテナンスの目安と予算等について	【階段・柵の検討・9・10頁】についてお伺いします。 今回の案では、2か所のみ（①つの坂・②北西の急勾配の坂）の設定とあります（大きな変更に感謝いたします）。 つの坂の関しては一部フェンスを取り除きそこに階段を設けるとあります。 北西の急勾配な坂に関しては、階段を設けていただけるとのこと。 階段の素材について比較を示していただき大変参考になりました。 そこでお伺いします。 擬木・自然木共にメンテナンスの間隔に対する目安と予算など計画があればお答えください。 ご存じの通り、つの坂横の斜面は山からの水路があり、常に泥濘んだ状態です。水の出口がフェンスの内側にあるために手を付けることができない状態でもあります。仮にフェンスがとれたとしても、山からの水の流れを変えることはできないのではないかと考えます。 現在つの坂は保全会が自然木を使い階段を作っていますが、腐植と共に泥濘が発生し、その補修には大変な労力を要しています。 10頁の比較表で自然木の場合の耐用年数が10年またはそれ以下となっていますが、つの坂に関しては数年単位です。 参考までに稲荷神社の敷地に当たる神社横から尾根へつながる坂も、保全会が自然木の階段と竹や自然木の手すりを作っていますが、ここの耐用年数もせいぜい5年です。 また、北西の急勾配の坂に関しては、一部道幅も狭く坂の下にある民家の方からは土が流れてきて困っているとお聞きしています。 現在ここは土嚢と簡易的な土避けがありますが、急勾配でもあり、素人の手では修繕は難儀だと予測します。 自然木にした場合、恐らく数年単位で修繕が必要になると予想します。その場合、市が修繕に関しどのようなお考えを持っているのかを伺いたいと存じます。 今後における市の予定、予算などによっては、保全会（ボランティア団体の力量）としてこの2か所に関しては擬木止む無しと考えます。	【回答】 メンテナンスの目安や予算等の計画はありません。施設の状況に応じてその都度予算要求を行い、メンテナンスを行うこととなります。
2	2/10(05)	素材（擬木）	2.P10（階段・柵の素材）について 個人的意見ですが、擬木にしてほしい。階段・柵は安全確保の意味から、自然木での破損や朽ちることが気になります。そのうえ定期点検と予算や交換・補修作業など維持管理が大変になると予測されますので擬木で良いと思います。柵の埋め込む木も埋設部分がすぐに朽ちてきます。	【回答】 階段・柵の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議のうえ、実施設計で詳細を検討します。

項目		階段・柵		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
3	2/12 (08)	素材（擬木） 予算確保 要望	①階段や柵の素材について 2月5日の説明会での質疑応答の中で 自然木とした場合、メンテナンスを数年単位で行う必要があるが 予算が通らなければ（または足りなければ）施工できないとのこと。 自然木を維持できるか確約できない。と受け止めました。 今回の緑地が晴れてオープンした後、長期に渡り安定して維持管理していくための予算は最重要であり、ここに大きな予算を取っていただきたく要望いたします。 一方で、2019年の台風による倒木処理が追いついていない状況を拝見しますと 自然災害に対する予算も今以上に必要かと思えます。 階段や柵の維持費用がどうしても他の予算を侵食するようであれば 擬木も含めた検討をよろしく願いいたします。 また、過去の緑地保全予算で、市民向け開示資料があれば拝見させていただきたいと思っております。	【回答】 階段・柵の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議のうえ、実施設計で詳細を検討します。 過去の緑地保全予算の市民向け開示資料については、別途、みどり公園課にご相談ください。
4	2/12 (09)	階段は現状のまま、柵は自然木が良い	◆『3.4 階段・柵の検討』について 階段については前回（11月29日）の説明会でも他の人も言及されていましたが、現状のままで特に増設や新設は必要ないと考えます。 前回の意見募集でも書きましたが、階段は設置するとその後の維持保全管理が必要です。降雨等による表土流出を防止あるいはその対処としての土木関係の作業が必要になります。階段を設置するだけでその後の維持保全整備を怠ったために、実質障害物競技の「ハードル」のように擬木部分のみが残った階段というのが、逗子葉山など近隣のハイキングコースでも散見されます（実例写真 hayama-hiking-course-stairs01.jpgおよびhayama-hiking-course-stairs02.jpg を添付します）。   以上のことから、階段の増設や新設は無くても良いと考えます（現状のままで階段や柵の施工無しでも構わないと考えます）。 現状のままでも、大きな怪我や事故も起きずに台峯緑地はこれまで利用されてきました。安全対策としての階段や柵の設置ということであれば特に必要ないと考えます。 階段よりも降雨による表土流出やぬかるみへの対策をしっかりしたほうが、安全対策にも防災にもなると考えます。 対して、柵については必要な箇所に設置するのに反対意見はありません。ただし材質は耐用年数が低めでも、自然木が良いと考えます。プラスチック製擬木はリサイクル素材であっても長期的には経年劣化でマイクロプラスチック化する懸念があります。自然木でつくられた造形物（この場合は道標）であっても、防腐剤を塗布するなど対策すれば10年以上経ってもほとんど腐朽せずに実用に耐えている事例を逗子葉山エリアで知っているので、問題ないと考えます。	【回答】 現地の状況や勾配を考慮し、当該箇所は階段を設置する必要があると考えています。 階段・柵の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議のうえ、実施設計で詳細を検討します。

項目		サイン		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	2/12 (09)	視認性向上のための再考	◆『3.5 サインの検討』について 各サインの設置場所や向きについては前回の素案よりも良くなったと感じますが、被視認性を上げるためにいまだ再考の余地があると考えます。 特に「山ノ内配水池入口」および「山崎小入口」および「北鎌倉女子学園入口」の入口案内サインの設置場所と向きについては、入り口を通過する人が必ず見える（サインの存在とそこに書かれた内容を必ず認識できる）ようにするべきだと考えます。	【回答】 既に設置されている「山ノ内配水池入口」と「山崎小入口」の入口案内サインについては、設置スペースの関係上、現在の位置に設置しています。 新規で設置する「北鎌倉女子学園入口」の入口案内サインについても、設置できるスペースを検討した結果、掲載している設置位置としています。

項目		ベンチ・水飲み		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	－	－	（意見なし）	－

項目		公園灯		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	－	－	（意見なし）	－

項目		サクラ類の保存		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	－	－	（意見なし）	－

項目		耕作放棄地		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	2/7	漆の植林	玉縄に住む●●と申します。先日の説明会では、丁寧なご説明を有難うございました。 私は、説明会に出席した際に漆の木の植栽を提案した者です。以下当日と重複する内容がありますが、ご了承ください。 私は、大学在学中から30年弱、漆を使ってモノ作りをしているものです。日本における漆文化は約9500年前、縄文時代早期に始まり、ここ鎌倉でも鎌倉彫りを始め、漆で動植物や紋様などを描いた美しい漆の皿なども発掘されています。ところが昨今、市内で鎌倉彫を販売する店舗が毎年、約2件ほどお店をたたんでいっているという現状があり、古来から発展してきた鎌倉における漆芸文化が危機に瀕しています 現在、日本で使われている漆の約97%国は中国産、日本産の漆は、残りの3%ほどしかありません。国産漆の一大生産地である岩手県浄法寺町を始め、茨城県大子町、福島県会津、喜多方地方、香川県丸亀市といった地域で漆の植栽が行われていますが、国が文化財の修復を国産漆で行うということを掲げたこともあって、現在は、国産漆の不足が急務の課題になっています。 こうした現状を踏まえ、台峯緑地の耕作放棄地に漆を植林することをご提案します。 漆は、アジアにしかなく、その中でも国産漆は特に強靱で、日本では独自の漆芸が発展してきました。 こうした漆文化全体の復興に、鎌倉という地がその一役を担えるとしたら対外的なアピールにもなるでしょう。台峯緑地を単に地元民や観光客の散策エリアにするという考えでなく、説明会で参加された方々の意見にも出たように、市民が深く関われる「文化の発信地」という考えを取り入れて頂きたいと切に願っています。 こうした切羽詰まった現状にもかかわらず、昨今、徐々に漆の素晴らしさに目覚め始めた人々が増えてきているなあと感じることがしばしばありますが、特に敏感な若い世代にとっては、漆というものが新鮮に写っているのではないのでしょうか。漆の木から漆が取れる迄には、木を植えてから十数年かかります。長い目線で鎌倉市と世代を越えた市民が一体となり、漆の木を含めた台峯の自然を管理し育てていきながら、日本の文化を創成していくという取り組みは、とても魅力的なことと感じます。 漆の植栽の現状として、福島県会津において、実際に耕作放棄地への漆の植林が始まっています。 https://meguru-urushi.com/news/010082.html 林野庁では、漆の木などの特用樹を市と民間が関わって、荒廃農地へ植林することに対し、交付金を出しています。電話で問い合わせたところ、今回のような、台峯緑地の耕作放棄地への植林を想定した場合でも申請が可能とのことでした。 https://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/tokuyouzyu.html https://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/attach/pdf/tokuyouzyu-3.pdf 資金面も重要な課題となってくるので、こうした国からの補助を組み合わせることも大切だと思います。 つたない文章、且つ長文となり失礼致しました。何卒宜しく願い申し上げます。	【回答】 耕作放棄地の環境再生等の具体的な維持管理については、今後ボランティア団体と協議のうえ、対応を検討します。
2	2/10(04)	意見交換の場（漆の再生含む）	ここからが実際に市と市民が健やかな台峰を保つために、どのように継続して関わり続ける形を作ることができるかというとても大切な局面になるかと思います。 台峰に関わる方々の中でも何を大事にするかなど細かい部分では食い違いもあるかと思います。すり合わせのためにも市も含めた意見交換の場があるとよいと思います。また先日の説明会で発言のあった鎌倉の文化として漆を再生できないかなど、興味深いご意見などもそういった場でも一緒に検討できたらと感じました。	

項目		展望広場		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	2/12(09)	サイン設置	◆『3.6 展望広場の検討』について 何も新たな整備を行わないではなく、前回の素案にあった園名サインや解説サインはあっても良いのではと考えます。	【回答】 展望広場については、景観に配慮し、新たな整備は行わないと整理していますが、いただいたご意見については、今後ボランティア団体と協議のうえ、対応を検討します。

項目		落石防護網		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	2/12(09)	特になし	◆『3.7 落石防護網の検討』について 特に意見はありません。	－

項目		維持管理		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	1/29	管理状況への謝辞	身近に自然がある生活を望んで台に住み、8年経ちました。 台峰のハイキングコース（地図上の「保全配慮地区」と「都市計画公園」部分）を週に3、4回（真夏以外）歩かせていただいています。県外からいらした友人たちも案内しますが、お散歩感覚で気軽に登れるのに自然を感じられると、とても喜ばれます。 階段の落ち葉の掃除や刈り込みなど、いつもありがとうございます。おかげさまで安全に歩くことができます。	【回答】 今後も継続的な管理に努めます。
2	1/29	保全会活動の支えの形成	自然相手では維持をしていくことがとても大変なことと思いますので、保全会のみさんの活動の支えとなるような流れとなるといいように思っています。 台峰の自然がながく守られつつ、訪れる人が楽しめる場所であることを願っています。	【回答】 貴重なご意見として承ります。
3	2/12(09)	市が率先した機会づくり	◆『3.9 維持管理の検討』について 三者協議の体制づくりは、ボランティア団体（市民活動団体）や指定管理者に任せる（動きを待つ）のではなく、市が率先して場や機会づくりを行なってください。	【回答】 三者協議の体制づくりについては、引き続き市が対応を検討します。
4	2/12(10)	恒久的な試行錯誤の場	保全というのは単に今ある状態を変えないように保つというような漠然とした行為ではなく、必ず変化していく植生や樹木の状態等を明快な目標を台峯に係る、鎌倉市、、公園協会（将来民間事業者）ボランティア団体の構成者たちが恒久的に話し合い、目標に向けて、試行錯誤を楽しむような繋がりを築きあげられる場ができるようにしていただきたい。	【回答】 具体的な維持管理等の内容については、今後ボランティア団体と協議のうえ、対応を検討します。
5	2/1	植生管理の方針	【植生管理の方針・18頁】 ・「地元経験者・専門家に協力を得ながら、協働を含めた市民の参画による継続的な管理を目指す」の中で「できる限り市民が楽しみながらできる維持管理プログラムを検討する。」とありますが、大賛成です。 市民団体として継続性・次世代への継承はとても大きな課題でもあります。 ・「維持管理による発生材等の有効活用を図る」。前例に沿うことも必要かと思いますが、方法を模索、協議しながら進めて行けることを望みます。	
6	2/12(06)	子ども参加プログラムの企画立案協力	○今回の基本設計（案）の中で、以下の項目についてご提案いたします。 （１）植生管理の方針 市民の参画をめざすことから、できる限り市民が楽しみながらできる維持管理プログラム（対象、手法、役割分担、実施スケジュール等）を検討する。 →ぜひ、台峰を受け継いでいく子どもたちが参加できるプログラムの企画立案にご協力させていただきたいと考えています。 保全会の皆さんともご相談をしながら、大人も子どもも楽しめる内容を検討していきたいです。 台峰においての子どもたちとの活動の実績例： ●放課後かまくらっ子やまさきの地域プログラムにて、「台峰さんぽ」「オギ原をまもう」（NPO法人かまくら冒険遊び場やまもり）「谷戸のお手伝い」（山崎小学校・谷戸ボランティア有志）を2021年より実施。2025年度も継続予定。 ●子どもゆめ基金助成プログラム「鎌倉の山を歩いて遊ぼう」（NPO法人かまくら冒険遊び場やまもり）を2020年より実施、継続中。 ※各プログラムの具体的な詳細は改めてお知らせいたします。	【回答】 貴重なご意見として承ります。
7	2/10(05)	PDCAサイクルについて	3.P17（維持管理）について 計画～実施～成果～調査はPDCAサイクルと若干違いがありますが、文章の流れは最後に改善（ACTION）になっています。このサイクルを構築するのが具体的な作業をするうえでとても重要です。もう少し掘り下げてください。市民参加も考慮した場合、適正な関わり方はこのサイクルの一部という位置づけが良いと思います。	

項目		維持管理		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
8	2/12(08)	他の小さなボランティアも交えた話し合いの場	②三者協議について 2月5日の説明会での質疑応答の中で ほぼ全ての質問に対し 「ボランティア団体さんと協議しながら詳細を検討していきたいと考えております」 と仰っていました。 また、ある方のご意見では 「ボランティア活動において行政とのつながりや後ろ盾があるのは大きい」 とのお話もありました。 市は2月5日の前にボランティア団体との話し合いをされたと伺っております。 現時点で4団体と話を予定されていたと伺っておりますが、山崎・台峯を利用して活動するボランティアは、他にも存在しています。いずれも小さいですが、これらも全て交えれば、維持管理や、子どもを巻き込んだ利活用を想定した整備が一段とはかどるのではないかと思います。 利活用を想定した基本設計であるべきなので 台峰緑地保全会を中心に、他の小さなボランティアも交えた話し合いの場を設けてみるのはいかがかと思いました。	【回答】 現在山崎・台峯緑地内で活動されているボランティア団体について、市で把握している団体は4つになります。それ以外の団体については、ボランティア団体等に聞き取りを行い、把握に努め、話し合いの場の体制について検討します。
9	2/12(09)	地元住民からの聞き取り	◆『3.9 維持管理の検討』について 専門家の意見も確かに重要ですが、その地の事情や歴史を知っているのは昔から近隣に住む地元住民です。ボランティア団体とはまた別途、そうした昔からの住民への聞き取りなども必要ではないでしょうか。	【回答】 今後も市民説明会や意見募集等で地元住民の方からのご意見を伺う予定です。
10	2/1	範囲の確認と茅場などの再生について	【里山の保全ゾーン・6頁】」とありますが、眺望広場(見晴らし、老人の畑)一帯指すものでしょうか？ その場合、茅場、畑等の再生とありますが、具体的にどのように行うのかをお答えください (この茅場の再生は19頁21頁でも出てくる項目です)。	【回答】 都市緑地全体が里山の保全ゾーンに位置づけられており、展望広場一帯も含まれます。 茅場、畑等の再生について、基本設計P21「②耕作放棄地の環境再生」で管理手法例を掲載していますが、具体的な内容については今後ボランティア団体と協議のうえ、対応を検討します。
11	2/1	傾斜木の伐採、古竹の除伐の処理方法	【維持管理方針・17頁】 ・三者協議に関しては、構成メンバーなどを明確にした上で早期稼働を望みます。 ・維持管理の項目例について ・「傾斜木の伐採、古竹の除伐」とありますが、その処理方法をお答えください。	【回答】 三者協議の体制づくりについては、早期に対応できるよう努めます。 傾斜木の伐採、古竹の除伐の処理方法については、今後ボランティア団体と協議のうえ、対応を検討します。
12	2/1	危険木等対策と循環方法、各種記載内容	【維持管理方針・17頁】 ・維持管理の項目例について また、大変多くなっている危険木や倒木の処理、繁殖を続ける竹（筍の間伐が有効的です）の対策など、その循環方法に関してもどのような方策をお考えかお聞かせください。 ・「維持管理の分担」で「市民参画による維持管理と環境学習」「専門家を交得た維持管理」とありますが、是非そのような機会を望みます。 ・「市民と行政のとの役割分担、責任分担を明確にする」とありますが、お互いが話し合いをしながら明確にしてゆきたいと切に願っています。	【回答】 危険木や倒木の処理については、市が現地確認を行い、必要に応じて造園業者に発注し対応しています。竹の対策やその循環方法については、今後ボランティア団体と協議のうえ、対応を検討します。
13	2/10(04)	古木と植形成の方向性	台峰に増えてきている古木と今後の樹木の新陳代謝を視野にいたした各樹木の扱い方などの方針を整理していただきたく思います。 原野ではなく里山と位置付けるにあたり、落葉紅葉樹と照葉樹とのバランスも含めて整理していただきたいと思います。	【回答】 具体的な維持管理等の内容については、今後ボランティア団体と協議のうえ、対応を検討します。
14	2/1	竹林の管理	【維持管理方針・17頁】 ・維持管理の項目例について ・「眺望地点の視線を妨げる樹木の枝払い」とありますが、眺望地点（見晴らし・老人の畑）からは10年前までは東側の天柱峯の稜線を望むことができ、元旦の御来光には地元の方が集まっていました。この数年は手前にアズマネザサが繁殖群生し、その先には孟宗竹が繁殖し竹藪になってしまい、御来光は竹藪の彼方になっていました。昨年末に御来光が望める部分の竹を整備したところ、今年の御来光には70人位の地元の方が集まり「初日の出」を拝むことができました。また数年前には円覚寺方面斜面にも竹が徒長し、眺望を妨げる時期もありました。 竹の繁殖力は旺盛です。眺望をうたっている以上は眺望広場から円覚寺を見て、東北東から東南東方面における竹林の定期的な間伐は必要だと考えます。 筍の時点での間引きなど継続的な管理を希望します。	【回答】 竹林の定期的な間伐、発生材の処理方法等の具体的な維持管理の内容については、今後ボランティア団体と協議のうえ、対応を検討します。
15	2/10(04)	竹林の管理（副導線、眺望広場）	案にもありましたが、竹林については成長スピードが早く、なおかつ間伐した竹が腐りにくくたまっていく一方の現状も含め、早めに対処をお願いしたいです。今回階段設置予定の副導線脇二本の脇にはいずれも竹林があり、どちらも荒れ気味になってきています。 眺望広場の南、及び東側の竹の管理は特に眺望にかかわるので定期的な管理が必要だと思います。	
16	2/1	リサイクルができる維持管理	【維持管理方針・17頁】 ・維持管理の項目例について ・維持管理の方針の③で「緑地内での資源のリサイクルができる維持管理」とありますが具体的にはどのような案があるのかお答えください。	【回答】 緑地内での資源のリサイクルができる維持管理については、伐採した木を活用し、既存の丸太ベンチの更新等を想定しています。 その他のリサイクル方法については、今後ボランティア団体と協議のうえ、対応を検討します。

項目		その他（素案全体）		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	1/29	市民意見の反映、計画改善への謝辞	当初の計画書では、新しく設置される人工物が過剰のように思いましたが（すでに新設いただいたベンチも利用されているところを見ているので）台峰を大切に考えている市民のみなさんの意見がたくさん集まっていること（勉強になります）、そして市民の意見をもとに計画を改善してくださる鎌倉市の対応にもほっとしております。	【回答】 今後も地域住民やボランティア団体の方のご意見を伺う機会を設け、設計内容に反映できるよう努めます。
2	2/1	市民意見の反映、計画改善への謝辞	今回、素案についての市民からの質問・意見などに対し、丁寧なまとめ、真摯にお答えいただきありがとうございます。また、市民からの多くの意見を拝見し、刺激を受けたと同時に視野が広がる思いです。	
3	2/10(04)	市民意見の反映、計画改善への謝辞	設備等についての素案からの大幅な変更については、大変ありがたく思っています。HPに記載のあった様々な意見にも対応していただいたと感じています。	
4	2/12(06)	市民意見の反映、計画改善への謝辞	先日の説明会はありがとうございました。 第1回の説明会以後の丁寧なご対応に感謝いたします。 市民の声に真摯に耳を傾けてくださり、思いを汲んでくださったこと、大変ありがたく思っております。 今の台峰の姿を、少しでも長く後世に伝えていけるように、微力ながらできることをしていきたいと思います。 ○（素案）から（案）への変更ついて、子どもたちからの意見です。 ・私たちの話を聞いてくれてありがとうございました。嬉しかったです。 今後ともどうぞよろしくお願いいたします。	
5	2/12(08)	市民意見の反映、計画改善への謝辞	山崎・台峯緑地（都市緑地）基本設計（案）を拝見し 2月5日の説明会にも参加いたしました。 素案に寄せられた意見に対し、丁寧な対応と姿勢に感謝申し上げます。	

項目		その他（素案全体）		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
6	2/12(07)	利用する市民と市と共に自分達の手で保全	今回はこのような機会をいただき、ありがとうございます。市民の声を取り上げていただき、行政と市民が手を取り合っ て、より良い環境を目指して、意味のある保全をし、また費用の活用を考えていただければと願っています。大切な費 用は、市民の賛同を得て、公益性のある使われ方をお願いしたいと思います。 *里地里山(さとちさとやま)とは？ 里地里山は、農地や山林と集落が一体となった地域で、 農林業の生産活動や薪炭資源の場、人々の日常生活の場として、 長い時間をかけて形成されてきました。 里地里山は、農林業の生産の場というだけでなく、 良好な景観が形成されたり、様々な生物が生息していたり、 災害を防止したり、伝統的な生活文化が伝承されていたり、 環境学習や自然体験の場にもなったりと、 多面的な機能を発揮しています。 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n8f/cnt/f300562/index.html「神奈川県ホームページ かながわの里地里 山」より とあるように、多面的な機能を発揮している里山には、現代に即した里山の役割がまだまだあること がわかります。 今どのように台峰が地域の皆さんに活用されているか、一部ではあると思いますが、最後に紹介さ せていただきましたの でご参照ください。 市民の活用によって、山と人との距離が縮まります。それによって保全の意識も高まります。 行政だけでは到底無理な保全。利用する市民が市と共に自分達の手で保全していく。これが 得策ではないかと思ひます。 利活用の具体的なイメージがないなかで、基本設計を考えるのは、無理があると感じます。 どこに 向かって設計していけば良いのか判断できないのではと思ひます。 ぜひ今活用されている現場を知っていただいた上で、利活用についてイメージしていただき、同じ 目的を持って共に保全 していくパートナーであることを望みます。どうぞよろしく お願いいたします。 ※台峰は地域の里山として十分な魅力を備えていて、さまざまな活動の現場となっている。十分な公益性を持っ て市民が 活用するために適した緑地の保全がなされている。以下資料添付。 【添付資料「山崎・台峯緑地」】 台峯は地域の里山として十分な魅力を備えていて、さまざまな活動の現場となっている。十分な公益性を持って市民が活 用するために適した緑地の保全がなされている。 ●台峯緑地保全会：手入れと地域の行事 ●山崎小学校谷戸ボランティア有志：放課後かまくらっ子地域プログラム「谷戸のお手伝い」にて近自然工法による道の 整備を子どもたちの活動として実施@清水谷戸 ●NPO法人かまくら冒険遊び場やまもり：放課後かまくらっ子地域プログラム「台峯までお散歩」・オギ原の会の協力を得 て「オギ原をまもろう」の実施。台峯の庄衛門草地(見晴らしの隣南側の窪地)にて、鎌倉市との協働事業である出張冒険 遊び場の実施。 ●地域食堂ちゃぶ台：ギャラリーカフェ伊左衛門や台公会堂において地域食堂を実施。食を通して子どもたちを中心とし た緩やかな地域コミュニティーを展開する。屋内屋外を問わず台の地域全体の魅力ある佇まいを舞台として考える。その 1つに台峰緑地がある。食堂ちゃぶ台から近い山すそであそぶ子どもたちを見守る@向こうやま ●山ボラ（ボランティア）：山あそびをする子どもたちのエリアの安全管理を兼ねた手入れと遊びの見守り@向こうやま (一部私有地)→地域食堂ちゃぶ台との連携。食育につながる自然農法で実験的な試みを模索中。 ●特定非営利活動法人 芸落塾：コロナ前「たねをまく」では山の手入れと畑、地域の習慣にならった、山の楽しみ方、山 の恵みの活用などを実践。また、あおぞら造形「さんまのくら」は山や海であそぶ・つくるをキーワードに子どもたちと 展開。台峰を中心に活動している。 ●台獅子：獅子舞巡回、台峰見晴らしでのお月見神社、台の町内を回るお団子泥棒など、地域の風習が発端で、自然発生 的な子どもの活動であることが特徴。 他いろいろ... ●青空自主保育および近隣の保育園など ●台町内会・台こども会 ●台祭囃子保存会 ●山崎小学校、小坂小学校など の教育機関、などなど 以上	【回答】 貴重なご意見として承ります。

項目		その他（素案全体）		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
7	2/10(05)	利用者数の試算	1. P7（利用者数）について 人数の単位をすべて記載ください。/時だと思いますが、よろしいでしょうか。	【回答】 「表3.2.1利用空間の適正収容力からの試算」については、対象となる空間に「同時に」収容できる適正な人数を表しますので、単位は「人」となります。 「表3.2.2年間利用者数からの試算」については、記載の通り、年間利用者数は「人/年」、平均日利用者数、最大日利用者数は「人/日」、平均時間当たり利用者数は「人/時」であり、最大時利用者数は「同時に」利用する人数の最大値ですので単位は「人」となります。
8	2/12(09)	利用者数の試算	◆『3.2 敷地・施設容量からみた利用者数の検討と設定』について 前回の素案からの追加意見はありません。	－
9	2/12(09)	上位計画の位置付け	◆『3.1 上位計画の位置付け』について 前回の素案からの追加意見はありません。	－

項目		説明会		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	2/12(09)	早めに多様な手段での周知	▲説明会開催の周知案内について 2月5日の説明会はいくつかの事情が重なり参加できませんでした。その理由のひとつが説明会開催の周知案内が遅く、また周知のチャンネルが少ないというのがあります。もう少し早めに、またより多くのチャンネルや媒体での周知案内をぜひお願いします。	【回答】 今回の説明会の周知方法については、ボランティア団体、自治町内会、近隣学校関係に事前説明及びチラシ配布を行い、また鎌倉市ホームページ、X、LINE等での周知を行ったところです。 今後同様の周知を行う際には、より多くの媒体での周知の検討や迅速に情報提供できるよう努めます。